

会議録	
附属機関又は 会議体の名称	第3回 男女平等推進センター運営委員会
事務局(担当課)	男女平等推進センター
開催日時	令和7年10月22日(水) 午後3時～4時45分
開催場所	男女平等推進センター研修室2
出席者	委員 濱口 恵子 松本 憲藏 矢口 節子 鈴木 美千花 長島 千代美 渡辺 寛子 大根田 菜穂子 堀江 咲智子 吉川 倫子
	事務局 4名
会議公開の可否	公開・非公開・一部公開 傍聴人 0名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>運営委員会委員長及び副委員長の選出</li> <li>事業報告および今後の予定について</li> <li>エポック10 フェスタ 2026 について <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の選出</li> <li>・プレ・フェスタの開催について</li> <li>・メインイベント講師案、キャッチフレーズ案について</li> </ul> </li> <li>連絡事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回運営委員会日程について</li> </ul> </li> </ol>
審議経過	<p><b>事務局</b> 令和7年度第3回豊島区立男女平等推進センター運営委員会を開会する。</p> <p>—委員紹介、事務局紹介—</p> <p>【議題1】 運営委員会委員長及び副委員長の選出 委員長は鈴木委員、副委員長は堀江委員に決定。</p> <p><b>事務局</b> 本日傍聴希望者なし。</p> <p>【議題2】 事業報告および今後の予定について 資料 2-1 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G) の説明</p> <p>—委員からの質疑および意見—</p> <p><b>委員</b> ワーク・ライフ・バランス推進企業認定に7社が応募したということだが、それは新規応募の企業だけなのか。</p>

**事務局** 新規応募で7社である。認定期間2年から3年になり、今期は更新対象企業がない。現在63社が認定されており、新規応募7社が認定審査会を経てすべて認定されると初めて70社に届くことになる。

**委員** パートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出の内訳はどうなっているか。

**事務局** 令和6年11月1日からファミリーシップ制度を導入している。内訳だが、ファミリーシップとしての届出はまだない。パートナーシップとしての届出のみで82組(令和7年10月1日時点)となっている。

**委員長** 第5次としま男女共同参画推進プランの改定に係る住民意識調査の内容について伺いたい。

**事務局** 第5次としま男女共同参画推進プランは、配偶者等暴力防止基本計画と女性活躍推進計画を一体にして策定した。今後は、令和7年3月に策定した困難女性支援基本計画を追加して新たなプランを策定する。その基礎資料として、ジェンダー平等に関わる区民の意識調査をすることが趣旨。質問数は30問程度。自身の生活や社会、地域の中でジェンダー平等が実現されているか、介護休業・育児休業等についての考えや状況、生活においてどのようなところに困難を感じるか、DVに対する認識やDVを受けた経験があるか、そのときにどのような方に相談しているか、多様な性自認・性的指向に関すること、最後に区の施策や男女平等センターの認知度等を自由記述含めて回答していただいた。調査内容については年度末をめぐりに公表を予定している。

資料 2-2 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(事業企画G)の説明  
—委員からの質疑および意見—

**委員** 8月14日に開催された女性しごと応援キャラバン in 池袋だが、申込人数が多くお断り数が61名になったとのことだが、なぜこんなに興味を持たれたのか、どのような年代の方が参加されたのか教えてほしい。また、先着順だったのか抽選だったのか教えてほしい。

**事務局** 東京しごと財団が受付しているため詳細はわかりかねる。ただ、日程がお盆の時期だったことで参加しやすい方もいたと推測している。また、就職活動の基本的なステップ、働き方、制度、求人の探し方を学ぶという内容だったので、これから調べてみようという方には合っていたと考えられる。当初50名の定員であったが非常に人気だったため、定員枠を増やし最終的に76名まで受け付けている。受付は先着順で、定員に達した後の申込はお断りしている。女性しごと応援キャラバン参加者の年齢層だが、50歳から59歳の方が、年代としては最も多い。一番下だと25歳から29歳の方、65歳以上の方もいらっしゃる。

**委員** それだけ需要があるということ。主催は東京しごと財団ということだが、池袋以外でも開催されているのか。

**事務局** いろいろな自治体で行われている。内容が女性の再就職の応援ということなので、池袋で行うときはエポック10で共催している。

**委員** 出前講座というのは、どこが講師の派遣をするのか。

**事務局** 生涯学習・スポーツ課でとしま出前講座という事業があり、そちらを経由して link キャリアサポートセンターからエポック10に申込があったもの。多様な性自認・性的指向について、エポック10の学習指導員が出向き、講義を行った。

資料 2-3 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(相談 G)の説明  
—委員からの質疑および意見—

**委員** 相談カードはまとめて区の施設等に渡しているのか。

**事務局** 1年分の希望があった枚数を渡していて、なくなったら適宜連絡をいただき補充するようにしている。運営を委託している施設など直接確認しにくい場合もあり、改めて今回通知文を出して補充をお願いした。

【議題 3】エポック 10 フェスタ 2026 について

- ・実行委員の選出
- ・プレ・フェスタの開催について
- ・メインイベント講師案、キャッチフレーズ案について

**事務局** エポック 10 フェスタとフェスタ実行委員会について説明

○実行委員は吉川委員、渡辺委員に決定。

○プレ・フェスタについて、運営委員会としては来年度も開催の意向となる。

○メインイベント講師(運営委員会案)の決定

→決定した運営委員会講師案は、フェスタ実行委員会にて実行委員より提案する。

○キャッチフレーズ(運営委員会案)の決定

- ・一人ひとりがその人らしく
- ・だれもがどれ(で)も選べる社会に
- ・叶えよう！誰もが選べる未来
- ・実現しよう！誰もが希望をもてる社会
- ・あなたが築く新しい社会

→事務局から欠席委員へ上記決定事項を連絡し、キャッチフレーズ案については欠席委員からも募る。

【議題 4】連絡事項

・次回運営委員会日程について

(日程調整)

**委員長**

次回開催は令和8年1月21日(水)15時とする。

その他、連絡事項やご質問があれば挙手をお願いします。

(挙手なし)

**委員長**

以上で第3回男女平等推進センター運営委員会を終了する。

提出資料	資料 1 豊島区立男女平等推進センター運営委員会設置要綱 資料 2-1 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G) 資料 2-2 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(事業企画 G) 資料 2-3 令和7年度第3回運営委員会 事業報告(相談 G) 資料 3 過去のキャッチフレーズ・メインイベント講師一覧
------	--